

1. 事業概要

1-1. 事業実施の目的

福祉用具専門相談員は、常に自己研鑽に励み、指定福祉用具貸与の目的を達成するために必要な知識及び技能の修得、維持及び向上に努めなければならないとされているところであるが、福祉用具貸与事業者においても、福祉用具専門相談員の資質の向上のために、福祉用具に関する適切な研修の機会を確保しなければならないとされており、サービスの質の維持・向上のため、福祉用具貸与事業者にとって人材確保・人材育成は重要な課題である。

本事業はこれを踏まえて、福祉用具貸与事業者が現状実施している人材育成策を調査した上で課題を整理し、解決策について啓発することを目的とした。

また、将来的な人材育成の在り方についても視野に入れ、福祉用具貸与事業者における介護ロボットの取り扱いに必要となる人材育成についても調査対象とし、現状の実態把握を行った。

1-2. 調査の進め方

上記の目的を達成するため、本調査は以下の手順で実施した。

(1) 検討委員会の設置・開催

本事業の推進、成果のとりまとめ等について検討を行うため、検討委員会を3回開催した。

(2) 先行調査のレビュー

本事業における調査を実施するにあたり、これまでに実施されてきた各種調査研究の内容等を整理した。

(3) アンケート調査の実施

福祉用具貸与事業者を対象に、福祉用具専門相談員の資質向上に資するための人材育成の実態および課題を把握することを目的にアンケート調査を実施した。

(4) ヒアリング調査の実施

福祉用具貸与事業者における人材育成の具体的な実施内容を把握することを目的にヒアリング調査を実施した。

また、将来的な人材育成の在り方として、福祉用具貸与事業者における介護ロボットの取り扱いの実態把握を目的としたヒアリング調査も実施した。

(5) 報告書の作成

前記(1)で設置した検討委員会での討議を踏まえ、本調査研究事業における検討結果を報告書としてまとめた。

1-3. 委員会の実施

(1) 委員の構成

委員会の委員は以下のとおりである。

<委員メンバー>

- 岩元 文雄 一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会 理事長
株式会社カクイックスウィング 代表取締役社長
- 東 昌 弘子 国際医療福祉大学大学院 教授
- 藤 咲 大輔 一般社団法人福祉用具プランニング あずさわ福祉本舗 所長
- 牧 野 和子 一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長
- 松 原 由美 早稲田大学 人間科学研究科 健康福祉科学研究領域 准教授
- 渡 邊 慎一 横浜市総合リハビリテーションセンター
地域リハビリテーション部長

○委員長 (敬称略・五十音順) (所属は令和3年3月時点)

<オブザーバー>

- 越 田 拓 厚生労働省老健局高齢者支援課 課長補佐
- 長 倉 寿子 厚生労働省老健局高齢者支援課 福祉用具・住宅改修指導官
- 加 藤 浩一 厚生労働省老健局高齢者支援課 福祉用具・住宅改修係長
- 舛 井 健一郎 厚生労働省老健局高齢者支援課 福祉用具・住宅改修係
- 小 野 木 孝二 一般社団法人日本福祉用具供給協会 理事長

(敬称略)

<事務局>

- 本 村 光 節 一般社団法人日本福祉用具供給協会 事務局長
- 伊 藤 広 成 一般社団法人日本福祉用具供給協会 事務局次長
- 淡 路 陽 子 一般社団法人日本福祉用具供給協会 事務局主任
- 江 崎 郁 子 株式会社三菱総合研究所
- 黄 色 大 悲 株式会社三菱総合研究所
- 谷 澤 由 香 理 株式会社三菱総合研究所
- 三 輪 慶 人 株式会社三菱総合研究所

(2) 委員会の開催状況

委員会は下記のとおり、3回開催した。

図表 1 委員会の主な議題

回	開催日	議題
第1回	令和2年8月27日(木)	・ 事業概要について ・ 先行調査について ・ アンケート調査について ・ ヒアリング調査について
第2回	令和2年12月25日(火)	・ アンケート調査(速報)について ・ ヒアリング調査について ・ 研修会・資格制度等の整理について ・ 報告書骨子(案)について
第3回	令和3年3月2日(火)	・ アンケート調査(確報)について ・ 人材育成の考え方と取組について ・ 介護ロボットの取り扱いに向けた人材育成について ・ 報告書(案)について